

日本遺産「龍田古道・亀の瀬」シンポジウム 「旅するトンネル～亀の瀬トンネルの魅力～」 開催

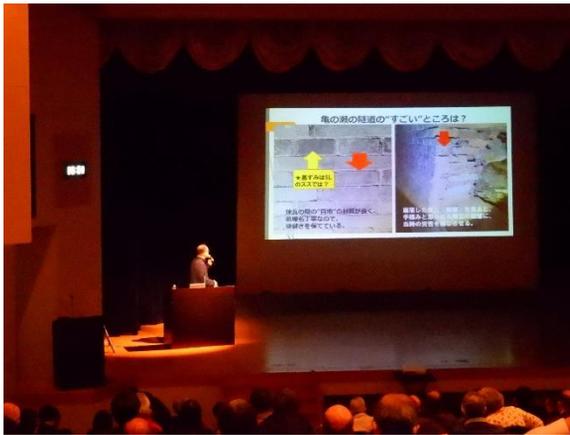
1月31日(火)に日本遺産推進協議会主催で日本遺産「龍田古道・亀の瀬」シンポジウムを開催しました。トンネルツーリズムプランナー花田欣也氏の講演と、亀の瀬(排水トンネル、鉄道トンネル跡)の魅力、大和川との連携、これからの展望についての座談会を開催しました。

【概要】 日本遺産「龍田古道・亀の瀬」シンポジウム「旅するトンネル～亀の瀬トンネルの魅力～」

・実施日:1月31日(火) 13時30分～15時30分 ・参加人数:約170名

・会場:三郷町文化センター文化ホール(奈良県三郷町)

・主催:日本遺産「龍田古道・亀の瀬」推進協議会(大和川河川事務所は当会委員)



花田欣也氏講演の様子

花田欣也氏 講演会 「旅するトンネル～亀の瀬トンネルの魅力～」

- ・トンネルによる地域活性化の成功事例、各地の工夫を紹介。
- ・亀の瀬は数あるトンネル観光地の中でもアクセシビリティが高く、ポテンシャルが高い。
- ・何かを作るより、今あるものを最大限活かす。廃トンネルも磨けば光る有効な観光資源である。
- ・集客のキーワード「今だけ」「ココだけ」「あなた(見学者)だけ」という魅力を持たせること。
- ・地域住民の誇り(シビックプライド)となれば、自然と活動の担い手も増えていく。

座談会 「トンネルの先にある日本遺産『龍田古道・亀の瀬』のミライ」

- ・インフラツーリズムの本格化、日本遺産認定などを契機に亀の瀬の来訪者数は急増中で、さらに柏原市のプロジェクションマッピングも加わり、一層の地域活性化が期待できる。
- ・三郷町の魅力、柏原市の魅力、河川事務所のかわまちづくりやオープン化を面的に組み合わせる事ができれば、強力な観光パッケージを創出できる。
- ・大和川と亀の瀬があり、市街に近い自然豊かな地域として、川遊びやサイクリングなどアウトドア体験ゾーンとしての活動も増えている。SDGsなど環境意識が高まるこれからの時代にも繋げていきたい。

大和川河川事務所は引き続き、日本遺産亀の瀬を活用したインフラツーリズムの展開などで地域活性化を支援します。



上:座談会の様子 下:記念撮影
(左から河野JTB総研主任研究員、花田氏、富宅柏原市長、森三郷町長、山本大和川河川事務所長)

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 調査課

〒582-0009 大阪府柏原市大正2-10-8 TEL 072-971-1381

